

宮ヶ瀬ビジターセンター

●自然教室「秋のよくばり登山 ～高取山・仏果山～」

宮ヶ瀬湖の東側、高取山、仏果山へ! (標高差約450m)
紅葉の山々に自然を楽しみ、風景を楽しみ、山登りを楽しむ。
よくばり登山へ行きましょう!

開催日:平成21年11月15日(日) 8:45～16:00頃
募集人数:20名(小学校以上健脚向け 小学生は保護者同伴)

応募者多数の場合には抽選

参加費:1000円(保険代、資料代)

締切:10月24日(土)

集合解散:集合 県立あいかわ公園

解散 県立愛川ふれあいの村付近

交通機関:小田急線本厚木駅からバスで野外センター経由半原行き

「愛川大橋」下車 徒歩20分 本厚木発7:20

乗車時間33分 片道料金550円

車の場合 県立あいかわ公園駐車場500円(普通車)

秦野ビジターセンター

●自然教室「山麓のんびり登山計画」

ビジターセンターから1時間ほどのコースをゆっくり歩いて、自然の中でのんびり過ごします。

開催日:2009年11月21日(土) 9:30～16:00

応募人数:一般(高校生以上) 20名

参加費:1000円

締切:2009年11月5日(木) (必着)

場所:大倉尾根

丹沢湖ビジターセンター

●自然教室「丹沢湖 紅葉ハイク」

紅葉や見どころを訪ねながら、丹沢湖の周りをのんびり歩きます。※約4kmの行程を4時間程かけて歩きます。

開催日:21年11月23日(月) 9:30～15:00

募集人数:高校生以上20名 ※応募者多数の場合抽選

費用:1人500円

締切:11月9日(月) 必着

場所:丹沢湖周辺

●企画展「タイムスリップ丹沢湖」

丹沢湖周辺の自然や歴史について、昔と今を見くらべます。

期間:平成21年10月3日～12月27日

※開館時間中はいつでもご覧になれます。

入館無料

自然教室申込み方法

往復はがき、またはFAX(返信FAX番号明記)に
行事名・参加者全員の氏名・年齢・住所・電話番号を記入して、各ビジターセンターへ
締切日必着でお送り下さい。
詳しくは返信でお知らせします。

自然公園へ出かけよう

県立宮ヶ瀬ビジターセンター

〒243-0111 清川村宮ヶ瀬940-15
Tel046-288-1373 Fax046-288-1162
開館時間 9:00～16:30
http://www.kanagawa-park.or.jp/miyagase/

県立秦野ビジターセンター

〒259-1304 秦野市堀山下1513
Tel0463-87-9300 Fax0463-87-9311
開館時間 9:00～16:30
http://www.kanagawa-park.or.jp/hadanovc/

県立陣馬自然公園センター

〒229-0201 藤野町佐野川659-3
Tel0426-87-5270 Fax0426-87-5270
開館時間 9:00～16:30(4/1～11/30)
9:00～16:00(12/1～3/31)

県立丹沢湖ビジターセンター

〒258-0202 足柄上郡山北町玄倉515
Tel0465-78-3888 Fax0465-78-3777
開館時間 9:00～16:30
http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawakovc/

県立西丹沢自然教室

〒258-0201 足柄上郡山北町中川867-2-9
Tel0465-78-3940 Fax0465-78-3940
開館時間 8:30～16:30(4/1～11/30)
8:30～16:00(12/1～3/31)

環境省箱根ビジターセンター

〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根旧礼場164
Tel0460-85-9981
開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)
http://www.mmjp.or.jp/HakoneVisitorCenter/



宮ヶ瀬ビジターセンター



ジョウビタキ

丹沢の紅葉が山稜から徐々に下りてくる季節になりました。この時期、野鳥の顔ぶれには変化が見られます。春にやって来た夏鳥が暖かい地域へと旅立ち、入れ替わるように冬鳥が秋冬を過ごしにやってきます。日本と海外との移動をする種もあれば、同じ丹沢の中で標高の高い山稜と宮ヶ瀬など低い所との移動をする種もあります。時期はその年の気候などによって変化しますが、昨年は10月中にジョウビタキ・ビンズイ・マガモ・オシドリなどの冬鳥がここ宮ヶ瀬で観察され始めました。

またこの時期、北から宮ヶ瀬を超えて南へ移動途中の旅鳥も観察できるチャンスです。今年はいつどの種から移動を始めるのでしょうか?

野鳥たちの活発な動きからも季節の変化を感じられる時期、宮ヶ瀬へぜひいらして下さい! 観察におすすめのコースもご案内いたします。

丹沢湖ビジターセンター

こんな紅葉の楽しみ方はいかが？

8月下旬、稜線部ではカエデ類やゴヨウツツジの紅葉が始まりました。いよいよ丹沢が鮮やかに色づく紅葉シーズンの到来です！

鮮やかに色づく山々や溪谷を眺めるのも最高ですが、一本の木にぐっと近づいてみるのもオススメです。最近のセンター職員お気に入りの楽しみ方は、名付けて「透かし紅葉」。木の根元に座って、太陽に透かされた紅葉を眺めるというものです。

特に朝日と西日の時間帯は美しく、紅葉した葉がキラキラと輝きます。近くで見ている分、一枚の葉が色づいていく課程や、枝の先端から末端にかけて微妙に変化していく葉の色のグラデーションを楽しむことができます。

例年の丹沢湖周辺の紅葉のピークは11月中旬～下旬です。写真も鮮やかに撮れますよ！カメラ片手にぜひお越し下さい。

また11月23日には紅葉や見所を訪ねながら丹沢湖を歩く、自然教室「丹沢湖 紅葉ハイク」も開催予定です（要申込）。スタッフと一緒に秋の1日を楽しみませんか？

【原島】



秦野ビジターセンター

そろそろ、冬鳥たちが・・・

秋です。丹沢の稜線部ではもう、木々の葉が染まり始めています。そして、生きものたちにとっても変化の季節です。

春から夏ににぎやかにさえずり、繁殖期をすごした鳥たちは、子育ても一段落し、秋～冬を越す準備をしています。モズのように一羽でなわばりを持ち、木のてっぺんなどで高い声で鳴いてなわばりを主張したり、カラ類やエナガ、コゲラなどのように、いろいろな種類の鳥が集まって1つの群れを作ったり（「混群」という）、その形は様々です。

繁殖期を終え、南へと旅立つ「夏鳥」と入れ替わるように、秋～冬を丹沢周辺で過ごす「冬鳥」たちが間もなくやってきます。シベリアなどから飛来するジョウビタキは昨年、秦野ビジターセンター周辺で10月17日に初めての確認がされました。

今年はいつ頃になるか、待ち遠しいですね！

また、春～夏の間、丹沢の稜線部でにぎやかにさえずっていたビンズイも、これからの季節は山麓部で確認されるようになります。枯れ草にまぎれて食べものを探す姿をぜひ、見つけてみてください！

生きものたちはひとしれず、様々な営みを繰り広げています。秋の山を歩きながら、そんな気配をぜひ探してみてください!!

【鈴木】



ジョウビタキ



ビンズイ

陣馬自然公園センター

秋の花々 見ごろ！

朝夕涼しげな風が秋の気配を運び、山歩きには適した季節を迎えました。陣馬山頂では、キバナアキギリ・ゲンノショウコ・パアソブ・ツリフネソウ・シモバシラ・ハギなどの秋の花々が見頃を迎えています。秋の日はつるべ落としというように日の入りが早くなってきています。そこで、余裕を持ち早めの下山を登山者に呼び掛け始めました。

季節ごとに青々とした葉をおい茂らせ花々を咲かせた樹木、その葉がこれから紅色・黄色・オレンジ色に染まる「紅葉」は今年も鮮やかに美しく色づき、葉の先に富士山が見えるでしょう。今からとても楽しみです。



ホウキタケ



キバナアキギリ



ツリフネソウ



アケビ

また、佐野川の「日本の里100選」に選ばれた茶畑を訪れる観光客が増えており、ここセンターにも立ち寄られる方も多くなりました。

周辺を散策した方々は皆、山地にへばりつくように植えられている茶畑の景色に感動し、斜面で作業をする高齢者にびっくりしていました。霧の発生で上質の茶ができる茶畑を守ってほしいという声を残して行きます。

【荒井】

箱根ビジターセンター

ビジターセンター周辺の秋景色

箱根にも本格的な秋が訪れようとしています。

ビジターセンター近くの広場でワレモコウを見つけました。ワインレッドの花の先に止まる赤トンボ…何ともいえない風情がありますね。

秋の夕空には巻積雲（けんせきうん）がよく似合います。いわし雲、うろこ雲などと呼ばれるこの雲は、高積雲（こうせきうん…ひつじ雲）などと共に浮かんでいることも多く、この雲が空一面を覆うと、2～3日以内に雨になることがよくあります。短い秋晴れの日を存分に楽しみましょう。



富士山から望む山中湖と丹沢の山々



ワレモコウとミヤマアカネ



巻積雲

今年も多くの登山者で賑わった夏の富士山。夜、箱根から望むと、山小屋の灯りと、登山者のヘッドランプの行列が確認できるほどでした。その富士山に、8月下旬と9月中旬の2回にわたって登ってきました。残暑の下界とは対照的に、日本一の山はもう秋を飛び越えて初冬の気配、山頂噴火口周辺は既に氷柱（つらら）がびっしりと覆っていました。今回はじめてデジカメを持参して、富士山から箱根の山々を撮影できました。山中湖を隔てた丹沢連峰の眺めと共にお届けします。

【加藤】